

しみず じゅんこ
清水 淳子

株式会社夕月 代表取締役

昭和37年（1962）、いわき市生まれ。

大学卒業後、東京都の池袋で就職。1993年、夕月に入社し営業企画の仕事に携わる。

2002年、昔ながらの作り方をコンセプトにしたギフト型かまぼこのブランド

「美味一膳」をスタート。2018年9月に夕月の4代目として代表取締役に就任。

「夕月」は祖父の代から70年続かまぼこ店。

板付きかまぼこやギフト型かまぼこの生産販売を行っています。

震災では中之作港に面した冷凍庫が津波に遭い、原材料と在庫の製品が全滅。

本社工場は断水が続き、ようやく2カ月後に生産を再開できました。

でも「放射能、大丈夫なの？」と言われてたり、生産できない間の商品を他のメーカーさんに代行していただいたり、何もできない自分の無力感や葛藤がありました。また、せっかく生産再開はできたものの放射線量の問題が浮上。水や空間線量の測定、外部委託商品の放射能検査など、丁寧に説明し責任を果たしていきました。結局は長く愛されてきた「夕月」の名が助けてくれたのです。震災直後、出荷できなかったかまぼこ10万本余りを近所の方にお分けしました。

「あの時のかまぼこがうまかった」と、後に店に来てくださる方もいて、食品メーカーとしての使命のあり方も痛感。

かまぼこが保存食になると気づいた経験でもありました。

当時の一番つらかったこと「生産できない」を忘れずに、今生産を続けていけることに感謝し、祖父や父が築いてきた伝統の味を引き継ぎながら、新たなことにもチャレンジしていきたいと思っています。



板付きかまぼこの生産量が国内屈指のいわき市で、
伝統の味を守り続けている